

徳島県的一般廃棄物

(平成17年度実態 概要版)



平成19年5月

徳島県

はじめに

私たちが日々生活していく上で必ず出てくるものが、「ごみ」です。

「ごみ」は私たちの日常生活を映す鏡といっても過言ではありません。

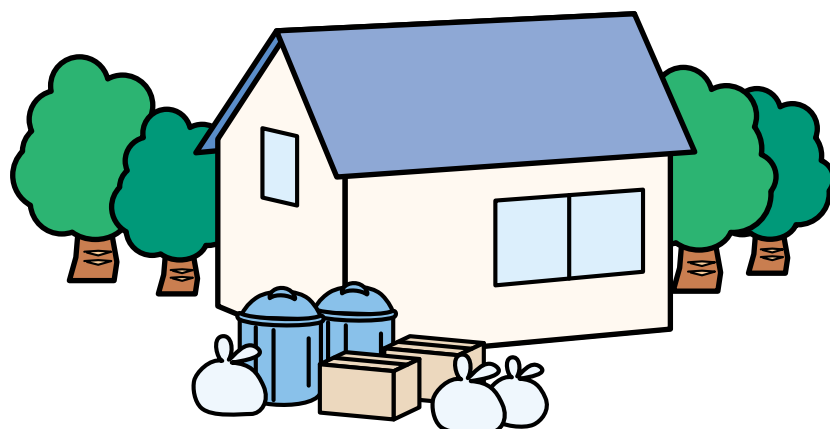
豊かで便利な生活を営み、ごみを出し続ければ、増えたごみは処理できずに行き場がなくなってしまう。

私たちひとりひとりが「ごみ」を減らす努力をしなければ、街はごみであふれてしまうかもしれません。

また、捨てることで「ごみ」になるものも、使い方次第では「資源」として有効利用することもできます。

みんなの貴重な「資源」を生かし、将来により良い環境を残していくためにも、ごみの減量化とリサイクルに取り組みましょう。

ちなみに、「徳島県の一般廃棄物（平成17年度実態）」については県ホームページに掲載されており、“トップページー県民環境部ー統計資料”でご覧いただけます。



もくじ

| | |
|-----------------------|----|
| 概要 | 1 |
| ごみ処理の状況 | 2 |
| し尿処理の状況 | 4 |
| 徳島県廃棄物処理計画（一般廃棄物）について | 6 |
| ごみ総排出量 | 9 |
| 総資源化量とリサイクル率 | 10 |
| 最終処分量 | 11 |
| 市町村別のごみ排出量 | 12 |
| 市町村別資源化量・リサイクル率 | 13 |
| 市町村別最終処分量・最終処分率 | 14 |
| 用語説明 | 15 |
| 市町村の廃棄物担当課窓口一覧 | 16 |
| 環境首都とくしま憲章 | 17 |



概要

平成17年度における徳島県の一般廃棄物(ごみ及びし尿)の排出及び処理状況等に関する状況について、市町村、廃棄物処理関係一部事務組合等を対象として行われた一般廃棄物処理事業実態調査の結果を取りまとめた。※印は、「用語説明(p15)」があります。



1. ごみの総排出量

○前年度に比べて7,000t 減

- 県内ごみ総排出量※ 303,206t (前年度 310,431t)
- 県民 1 人 1 日当たりの排出量※ (総排出量/総人口) 1,014g (前年度 1,032g)
- 平成16年度全国ごみ総排出量 5,059 万t
- 平成16年度国民 1 人 1 日当たりの排出量 (総排出量/総人口) 1,086g

2. ごみ処理の状況

○リサイクル率は増加傾向

- ごみの減量処理率※ 99.5% (前年度 98.8%) (全国H16年度 96.5%)
- ごみの直接焼却率 76.5% (前年度 75.5%) (全国H16年度 77.5%)
- 資源化等の中間処理率 15.3% (前年度 15.9%) (全国H16年度 14.4%)
- 直接資源化率 7.7% (前年度 7.4%) (全国H16年度 4.6%)
- 直接埋立率 0.5% (前年度 1.2%) (全国H16年度 3.5%)
- リサイクル率※ 18.9% (前年度 17.7%) (全国H16年度 17.6%)
- 最終処分率 14.6% (前年度 17.1%) (全国H16年度 16.0%)

○最終処分場の残余容量 (平成17年度末現在)

- 残余容量 393,242m³

3. 廃棄物処理事業経費の状況

- 廃棄物処理事業経費 (組合分担金を除く。) 216 億 3 千 5 百万円

○ごみ処理

- 県民 1 人当たりのごみ処理事業経費 22,594 (円/人・年)
- 国民 1 人当たりのごみ処理事業経費 15,200 (円/人・年) (H16年度)

○し尿処理

- 県民 1 人当たりのし尿処理事業経費 3,821 (円/人・年)
- 国民 1 人当たりのし尿処理事業経費 6,500 (円/人・年) (H16年度)





ごみ処理の状況

私たちが、ごみ置場に出したごみはどのように処理されているのでしょうか？

県内では1日あたり830.7トンものごみが排出され、そのうちの9割以上の780.1トンが、作業員の手作業によって収集車に積み各処理施設へ運ばれていきます。49.2トンは排出者自ら、処理施設まで運んできたものです。残りの1.4トンは各家庭で自家処理されたものになります。

ごみの処理量としては、830.7トンのうち、自家処理の1.4トンを除いた829.3トンが市町村によって、1日に処理されています。

可燃ごみなどの燃えるごみは焼却施設へ運ばれ、灰になります。

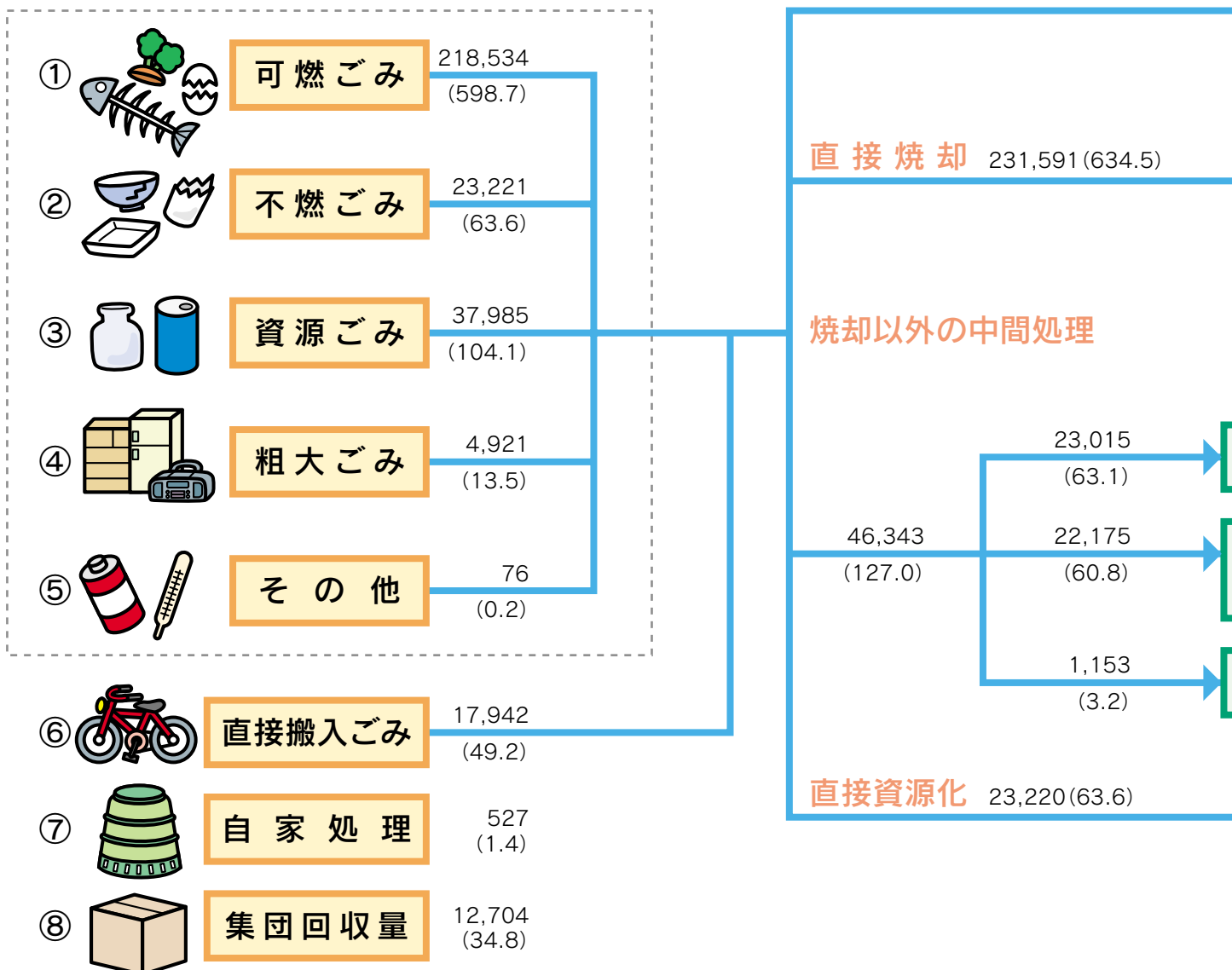
資源ごみは資源化処理施設へ運ばれ、再び製品になるための材料等にリサイクルされます。

不燃ごみや焼却施設での灰は最終処分場に運ばれ、埋め立てられます。

総排出量

収集量 284,737(780.1)

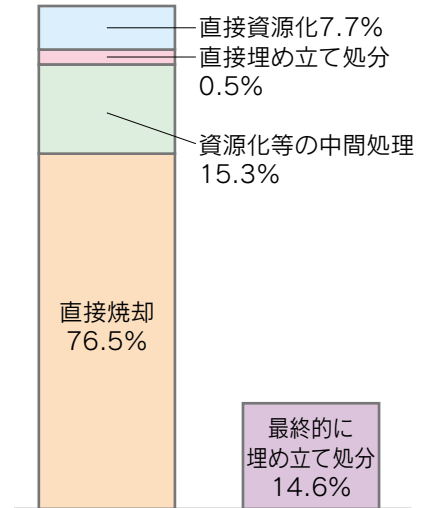
処理量 302,679(829.3)



- 収集ごみ = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ = 284,737t / 年
- 総処理量 = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ = 302,679t / 年
- 総排出量 = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ = 303,206t / 年
- 1人1日当たり排出量 = (① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦) / 総人口 = 1,014g / 人日
- (管理) 排出量 = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑧ = 315,383t / 年
- 1人1日当たり排出量 = (① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑧) / 総人口 = 1,055g / 人日
- 総資源化量 = ⑧ + ⑨ = 59,562t / 年
- リサイクル率 = (⑧ + ⑨) / (① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑧) = 18.9%

| | |
|--------|-----------|
| 計画収集人口 | 817,912 人 |
| 自家処理人口 | 1,097 人 |
| 総人口 | 819,009 人 |

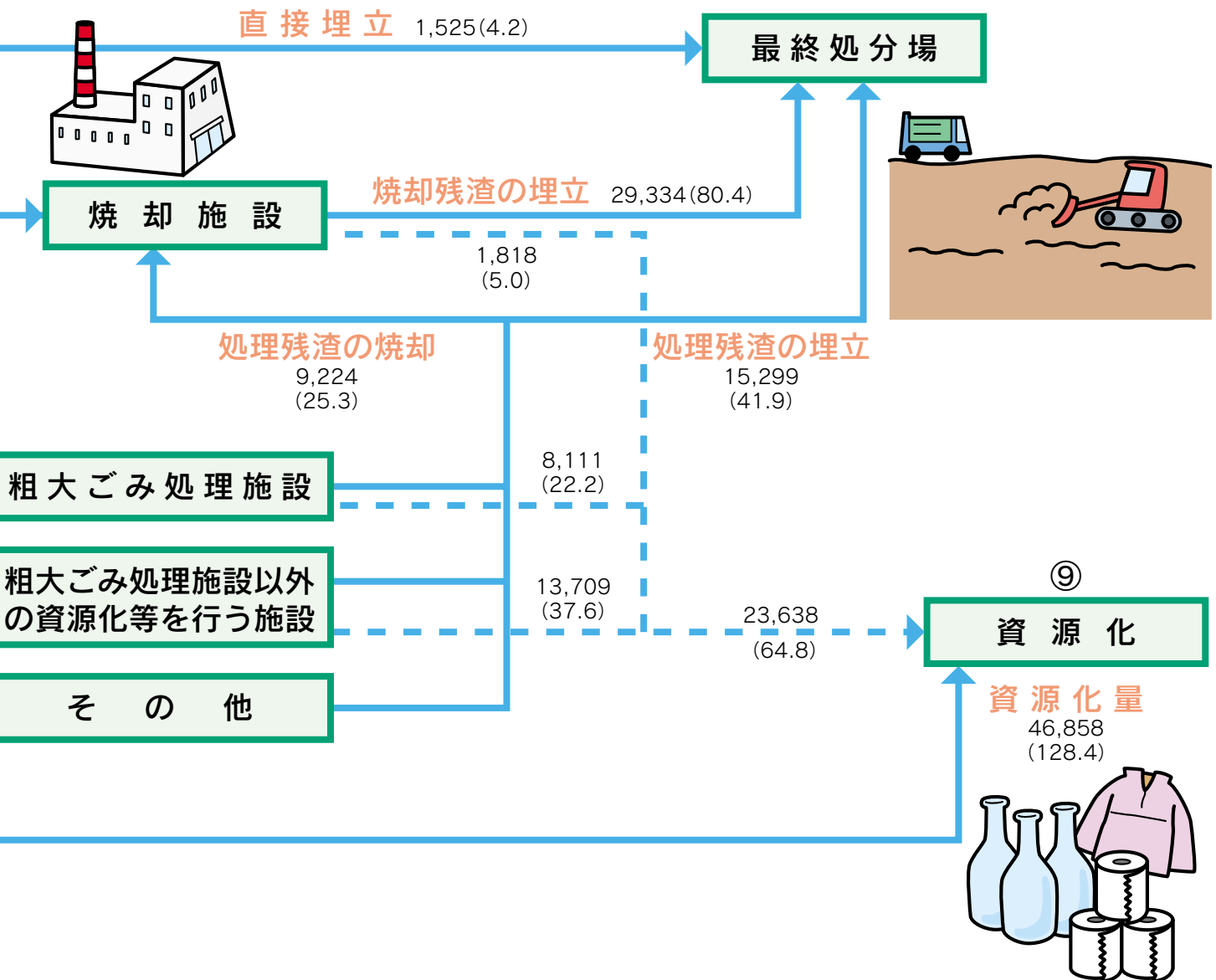
ごみ処理方法の割合



(単位: t / 年、 () 内 t / 日)

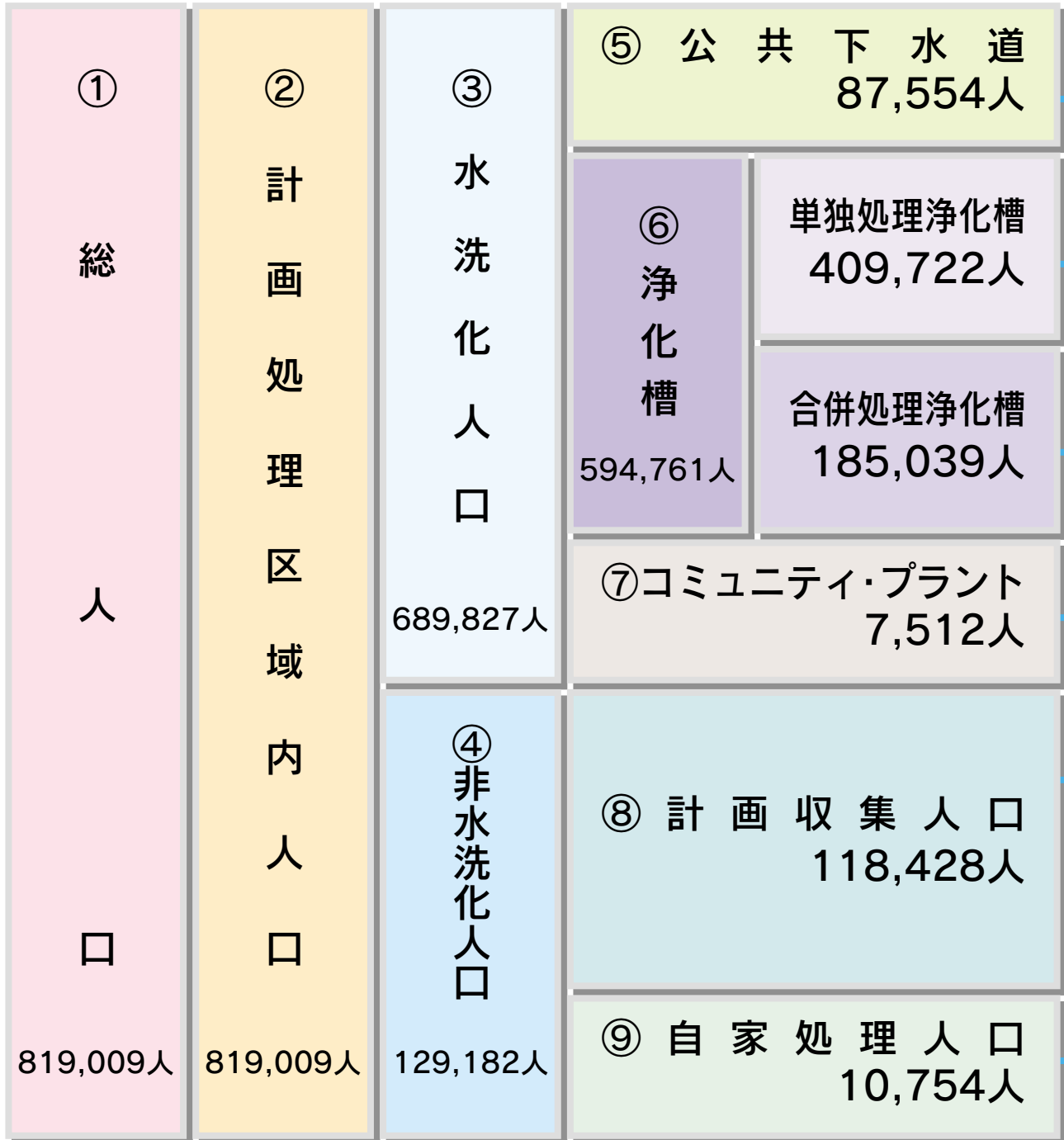
303,206 (830.7)

埋立量 46,158 (126.5)





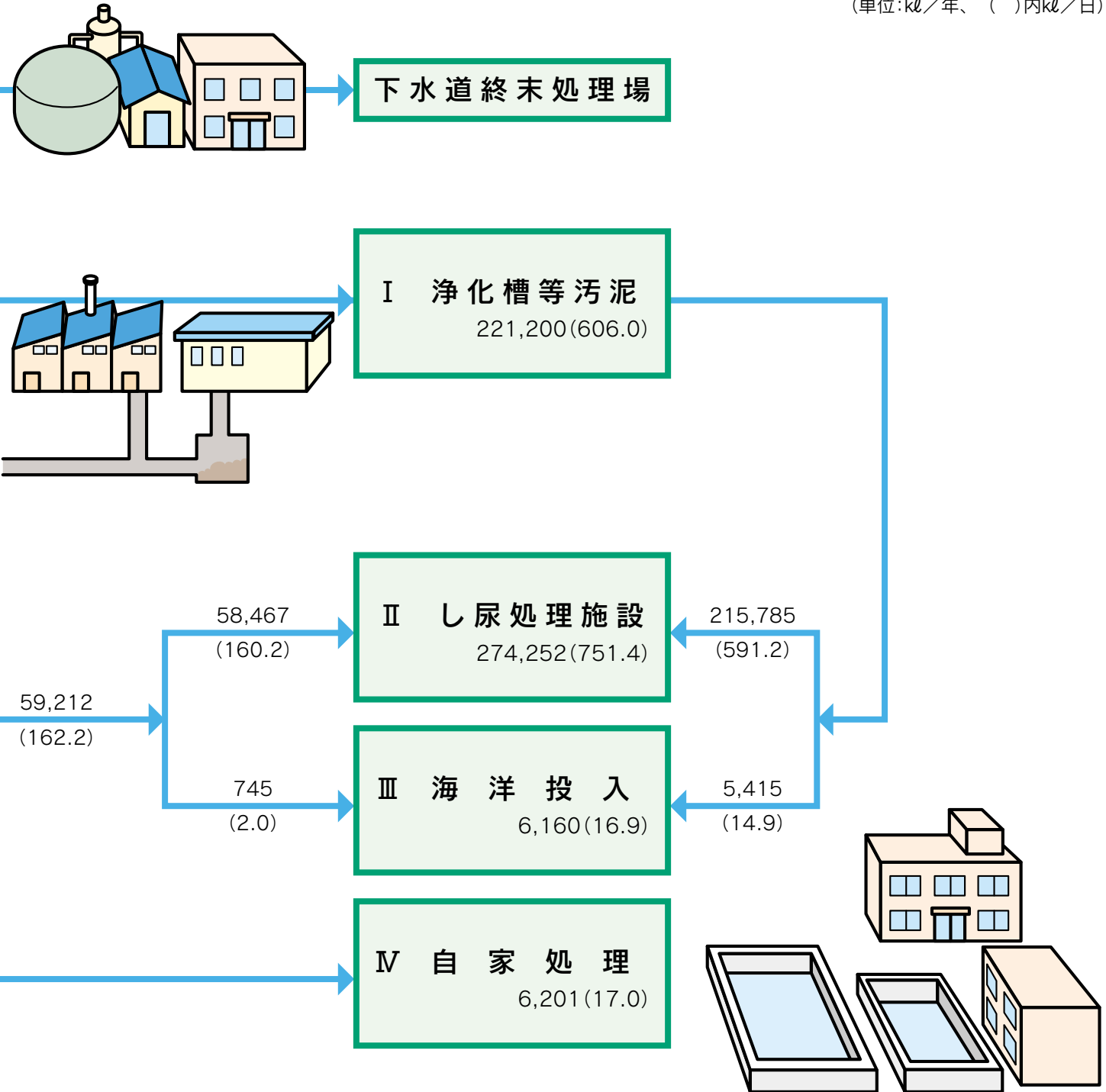
し尿処理の状況



- 水洗化率：③／①＝84.2%
- 非水洗化率：④／①＝15.8%
- 非水洗化人口における計画収集率：⑧／④＝91.7%
- 自家処理率：⑨／①＝1.3%
- 公共下水道水洗化率：⑤／①＝10.7%
- 浄化槽等水洗化率：(⑥＋⑦)／①＝73.5%
- 汚水衛生処理率：(⑤＋⑥のうち合併処理浄化槽＋⑦)／①＝34.2%

私たちのし尿は、下水道を通して終末処理場や、あるいは直接浄化槽で処理され、し尿処理施設へ運ばれます。県内の総人口のうち、公共下水道や浄化槽を使用している人口の割合（水洗化率）は、84.2%になっており、それ以外のいわゆる汲み取り式を使用している人口の割合（非水洗化率）は15.8%になります。

(単位:kl/年、()内kl/日)



- 計画収集量（浄化槽汚泥を含む）：Ⅱ＋Ⅲ＝280,412kl/年
- 総処理量（計画処理量＋自家処理量）：Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ＝286,613kl/年
- し尿処理施設による処理率：Ⅱ／（Ⅱ＋Ⅲ）＝97.8%
- 1人1日当たり し尿計画処理量：（Ⅱ＋Ⅲ－Ⅰ（下水道投入分を除く））／⑧＝1.37ℓ/人・日
- 1人1日当たり し尿排出量：（Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ－Ⅰ（下水道投入分を除く））／④＝1.39ℓ/人・日
- 1人1日当たり浄化槽汚泥計画処理量：Ⅰ／（⑥＋⑦）＝1.01ℓ/人・日



徳島県廃棄物処理計画について（一般廃棄物に関する事項）

1. 徳島県廃棄物処理計画の概要

(1) 経緯

平成 12 年度の廃棄物処理法の改正により、国は「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」を定め、県はその基本方針に即して「徳島県廃棄物処理計画」を平成 14 年 3 月に策定しました。

(2) 計画の目的

県民、事業者、行政等の行動の基本方針を定め、全ての主体が協働して循環型社会の形成に向けて積極的かつ先進的な取り組みを行うための施策を示すことを目的とします。

(3) 計画期間

平成 13 年度から平成 17 年度までの 5 力年計画とします。ただし、国の基本方針を踏まえ、平成 22 年度までを長期的な計画期間と位置づけます。

(4) 廃棄物処理の目標

国の基本方針の考え方を踏まえ、目標を設定しました。

【一般廃棄物】

①排出量（計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量）

平成 17 年度におけるごみ管理排出量を平成 10 年度に対して約 6%削減し、総量を 28 万 5 千トン以下とします。

②総資源化量・総資源化率（リサイクル率）

平成 17 年度におけるごみ管理排出量に対する総資源化率を 22%以上、総資源化量を 6 万 2 千トン以上とします。

③最終処分量・最終処分率

平成 17 年度における最終処分量を平成 10 年度に対して約 62%に削減し、4 万 3 千トン以下とします。

(5) 廃棄物処理の基本方針

つぎの 5 つの基本方針に基づき施策を推進します。

- ①発生抑制の推進
- ②循環的利用（再使用、再生利用、熱回収）及び減量化の推進
- ③適正処理の推進
- ④処理施設の確保
- ⑤循環型社会を形成する基盤整備

2. 一般廃棄物の目標と現状

(1) 一般廃棄物処理の状況（平成 17 年度実績）

平成 17 年度におけるごみ排出量（徳島県廃棄物処理計画ではごみ排出量であるが、以下ごみ排出量という。）は、315,383t（16 年度 319,175t）であり、前年度と比べ 1.2%減となっている。

徳島県廃棄物処理計画での目標年度（17 年度）における排出量は、平成 10 年度に対して 6%減の 285,000t 以下であり、目標値とは乖離がある。

総資源化量は、59,562t（16 年度 56,554t）であり、対前年度比では 5.3%増になっている。

ごみ排出量に占める総資源化量の割合であるリサイクル率は 18.9%（16 年度 17.7%）であり、前年度と比べ 1.2 ポイント増となっている。

徳島県廃棄物処理計画での目標年度（17 年度）におけるリサイクル率は約 22%であり、あと 3.1 ポイントの増加が必要である。

総資源化量は 62,000t 以上が目標値であり、目標達成にはあと 4%の増加が必要である。

資源化量は、目標値に近似しているところがあるが、排出量が増加しているためリサイクル率も目標達成には至っていない。

ごみ最終処分量は、46,158t（16 年度 54,606t）であり、前年度に比べ大きく減少している。ごみ排出量に占める最終処分量の割合である最終処分率も、14.6%（16 年度 17.1%）であり前年度に比べ 2.5 ポイント減少している。

徳島県廃棄物処理計画での目標年度（17 年度）における最終処分量は、平成 10 年度に対して 38%減の 43,000t 以下であり、目標値と若干差があるものの、最終処分率では目標達成している。

一般廃棄物の目標値

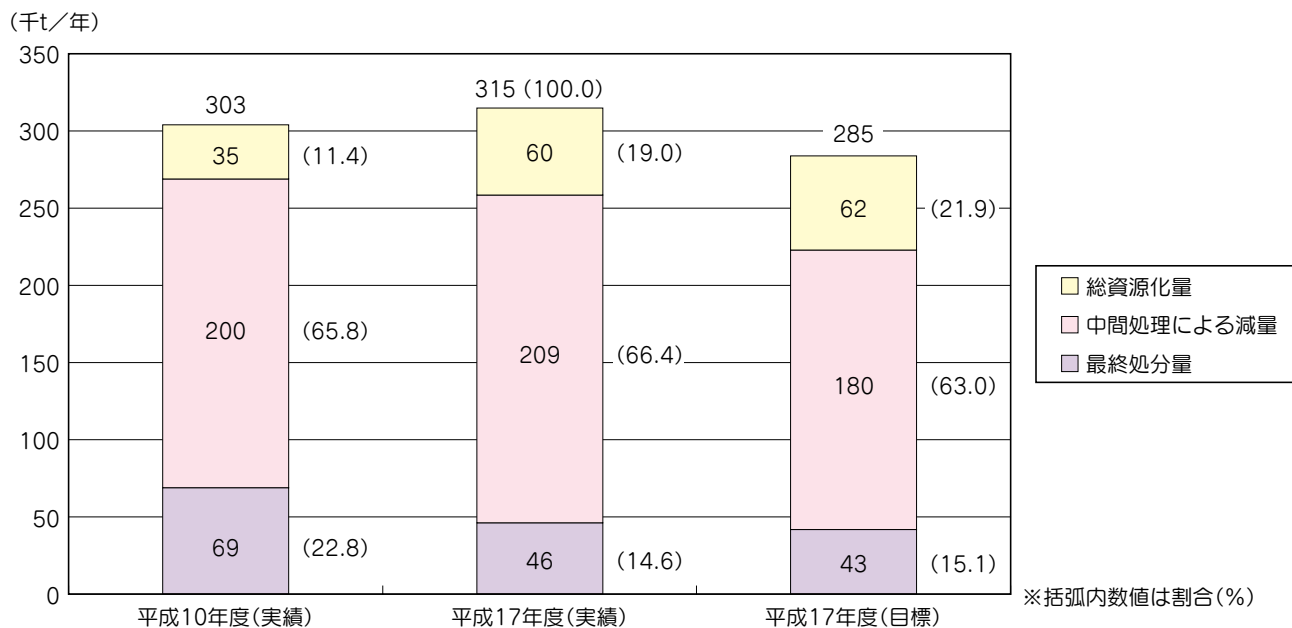
| | | | 基準 | 現状 | 目標 | 目標達成状況 |
|---------------------|--------|-----------------|----------|----------------|-----------------|--------|
| | | | 平成 10 年度 | 平成 17 年度 | 平成 17 年度 | |
| 人 口 (人) | | | 838,963 | 819,009 | 827,027 | — |
| 年間 ごみ 排出 量 | 発生・排出量 | ごみ管理排出量 (千 t) | 303 | 315 (4.0%増) | 285 (5.9%減) | 未達成 |
| | | 総資源化量 (千 t) | 35 | 60 (71.4%増) | 62 (77.1%増) | 未達成 |
| | 処理処分量 | 中間処理による減量 (千 t) | 200 | 209 (4.5%増) | 180 (10.0%減) | — |
| | | 最終処分量 (千 t) | 69 | 46 (33.3%減) | 43 (37.7%減) | 未達成 |
| 処理 比率 | 発生・排出量 | ごみ管理排出量 (%) | 100 | 100 | 100 | — |
| | | 総資源化量 (%) | 11.4 | 18.9 | 21.9 | — |
| | 処理処分量 | 最終処分量 (%) | 22.8 | 14.6 | 15.1 | — |

※処分比率の内訳には、中間処理による減量率を入れていない。

※四捨五入のため、合計値及び処理比率が合わない場合がある。

※括弧内は基準年度からの増減率になる。

一般廃棄物の目標値

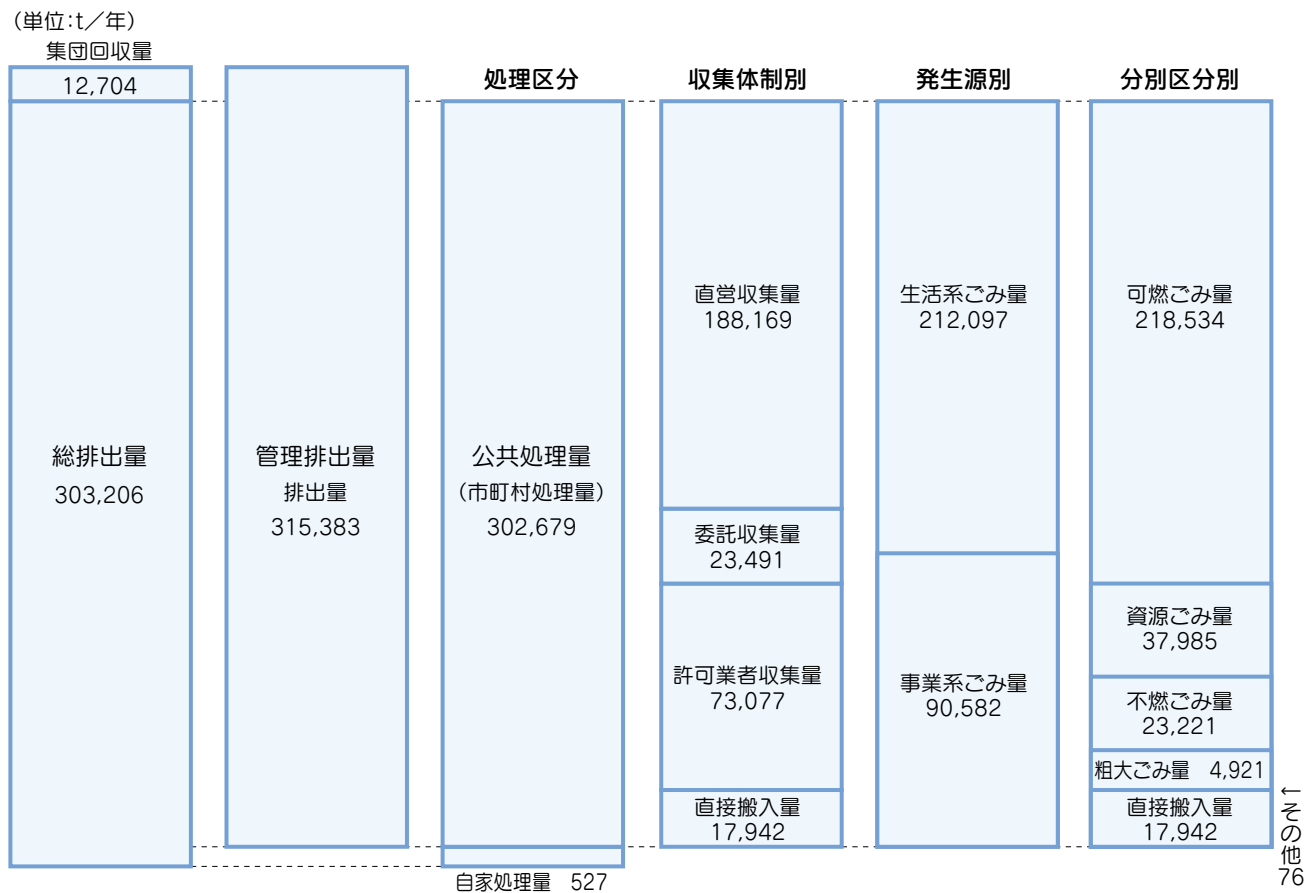


(2) ごみ量及び排出構造 (平成 17 年度)

下の図は、平成 17 年度における本県のごみ量及び排出構造を示したものです。

ごみ総排出量は 30 万 3 千 t で、この他に集団回収量として 1 万 3 千 t が把握されています。排出量の内訳は、公共処理量（市町村処理量）が 30 万 3 千 t、自家処理量が 5 百 t で、公共処理量の内訳は、収集体制、発生源、分別区分により分類されます。

ごみ量及び排出構造 (平成 17 年度)

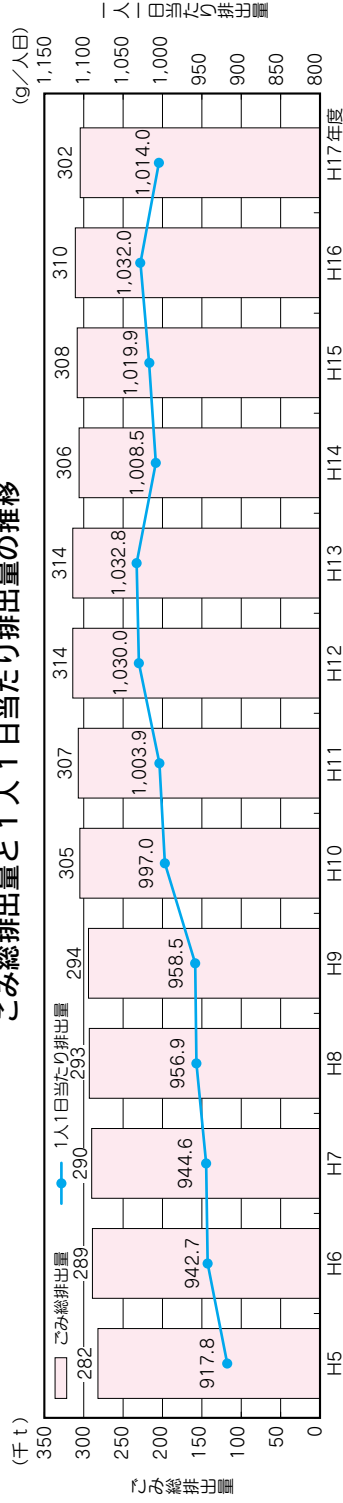


ごみ総排出量と排出量

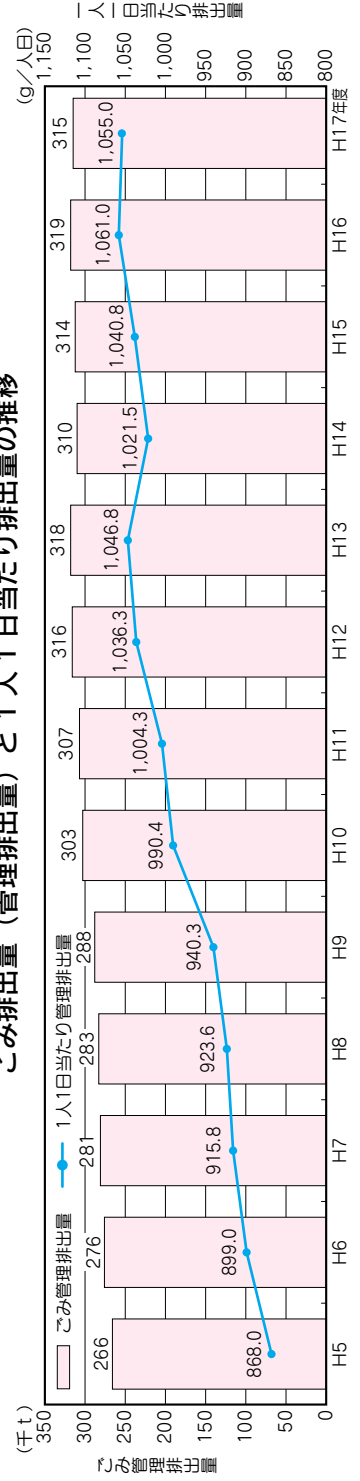
| 年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 計画収集量 (t/年) | 240,090 | 247,086 | 254,721 | 259,474 | 261,198 | 275,343 | 276,961 | 285,912 | 290,339 | 282,646 | 286,416 | 288,691 | 284,737 |
| 直接搬入量 (t/年) | 17,491 | 19,141 | 15,733 | 14,494 | 15,572 | 16,765 | 18,526 | 17,840 | 15,278 | 14,866 | 14,924 | 17,936 | 17,942 |
| 自家処理量 (t/年) | 23,970 | 22,716 | 19,325 | 19,529 | 16,932 | 13,204 | 11,228 | 10,178 | 8,328 | 8,250 | 6,670 | 3,804 | 527 |
| ごみ総排出量 (t/年) | 281,551 | 288,943 | 289,779 | 293,497 | 293,702 | 305,312 | 306,715 | 313,930 | 313,945 | 305,762 | 308,010 | 310,431 | 303,206 |
| 集団回収量 (t/年) | 8,695 | 9,317 | 10,492 | 9,317 | 11,378 | 11,181 | 11,344 | 12,103 | 12,577 | 12,208 | 12,994 | 12,548 | 12,704 |
| ごみ排出量 (t/年) | 266,276 | 275,544 | 280,946 | 283,285 | 288,148 | 303,289 | 306,831 | 315,855 | 318,194 | 309,720 | 314,334 | 319,175 | 315,383 |
| 平成10年度を100とした場合の管理排出量比率 | — | — | — | — | — | 100.0 | 101.2 | 104.1 | 104.9 | 102.1 | 103.6 | 105.2 | 103.9 |
| 総人口 (人) | 840,417 | 839,735 | 840,461 | 840,300 | 839,539 | 838,963 | 837,044 | 835,068 | 832,823 | 830,657 | 827,408 | 823,933 | 819,009 |
| 1人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日) | 917.8 | 942.7 | 944.6 | 956.9 | 958.5 | 997.0 | 1,003.9 | 1,030.0 | 1,032.8 | 1,008.5 | 1,019.9 | 1,032.0 | 1,014.0 |
| 1人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日) | 868.0 | 893.0 | 915.8 | 923.6 | 940.3 | 990.4 | 1,004.3 | 1,036.3 | 1,046.8 | 1,021.5 | 1,040.8 | 1,061.0 | 1,055.0 |

注) ●「ごみ排出量」 = 「計画収集量」 + 「直接搬入量」 + 「集団回収量」である。

ごみ総排出量と1人1日当たり排出量の推移



ごみ排出量 (管理排出量) と1人1日当たり排出量の推移

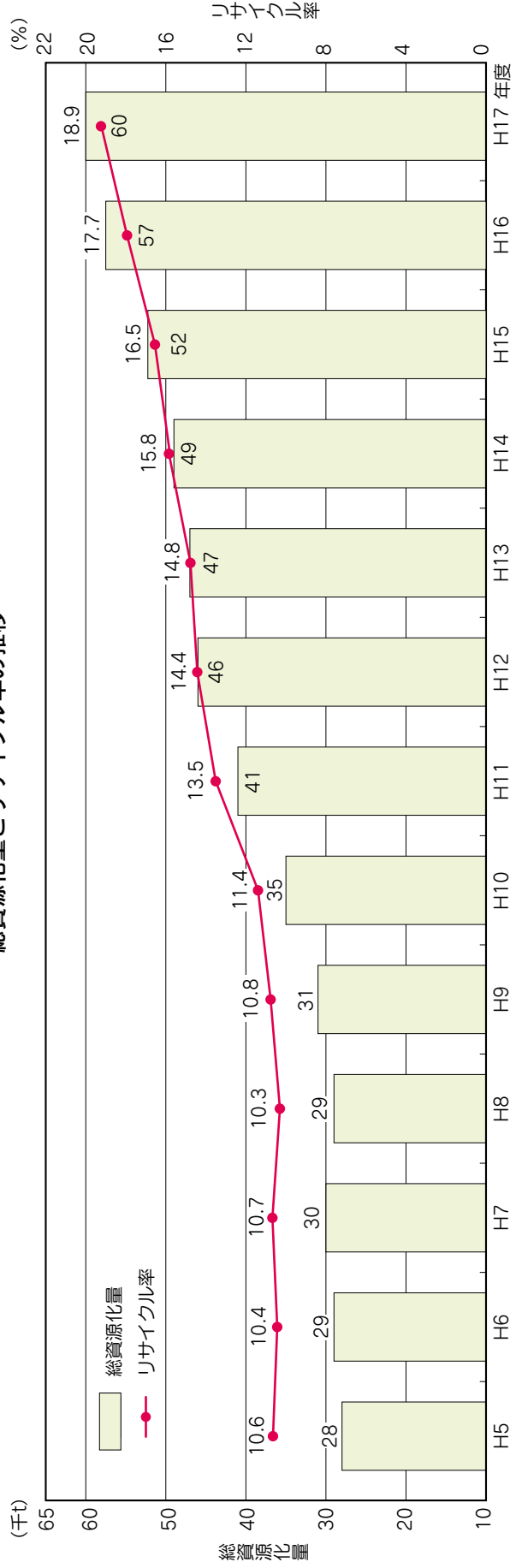


総資源化量とリサイクル率

| 年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 市町村等によるごみの資源化量 (t/年) | 19,645 | 19,429 | 19,498 | 19,861 | 19,636 | 23,363 | 30,096 | 33,470 | 34,418 | 36,862 | 38,976 | 44,006 | 46,858 |
| 中間処理後再生利用量 (t/年) | 19,645 | 19,429 | 19,498 | 19,861 | 19,636 | 13,180 | 11,690 | 14,749 | 14,180 | 14,868 | 16,111 | 21,373 | 23,638 |
| 直接資源化量 (t/年) | — | — | — | — | — | 10,183 | 18,406 | 18,721 | 20,238 | 21,994 | 22,865 | 22,633 | 23,220 |
| 集団回収量 (t/年) | 8,695 | 9,317 | 10,492 | 9,317 | 11,378 | 11,181 | 11,344 | 12,103 | 12,577 | 12,208 | 12,994 | 12,548 | 12,704 |
| 資源化量合計 (t/年) | 28,340 | 28,746 | 29,990 | 29,178 | 31,014 | 34,544 | 41,440 | 45,573 | 46,995 | 49,070 | 51,970 | 56,554 | 59,562 |
| ごみの総処理量 (t/年) | 257,581 | 266,227 | 270,454 | 273,968 | 276,770 | 292,108 | 295,487 | 303,752 | 305,617 | 297,512 | 301,340 | 306,627 | 302,679 |
| ごみの総排出量 (t/年) | 281,551 | 288,943 | 289,779 | 293,497 | 293,702 | 305,312 | 306,715 | 313,930 | 313,945 | 305,762 | 308,010 | 310,431 | 303,206 |
| リサイクル率 (%) | 10.6 | 10.4 | 10.7 | 10.3 | 10.8 | 11.4 | 13.5 | 14.4 | 14.8 | 15.8 | 16.5 | 17.7 | 18.9 |

注) ●「中間処理後再生利用量」とは、資源ごみ、粗大ごみ等を処理した後、鉄、アルミ等を回収し資源化した量である。
 ●「集団回収量」とは、市町村による用具の貸出、補助金の交付等で市町村登録された住民団体によって回収された量をいい、ごみの総排出量に含めていない。
 ●平成9年度までは、「中間処理後再生利用量」に計上されていたと思われる。
 ●リサイクル率(%) = (直接資源化量 + 中間処理後の再生利用量 + 集団回収量) ÷ (ごみの総処理量 + 集団回収量)

総資源化量とリサイクル率の推移

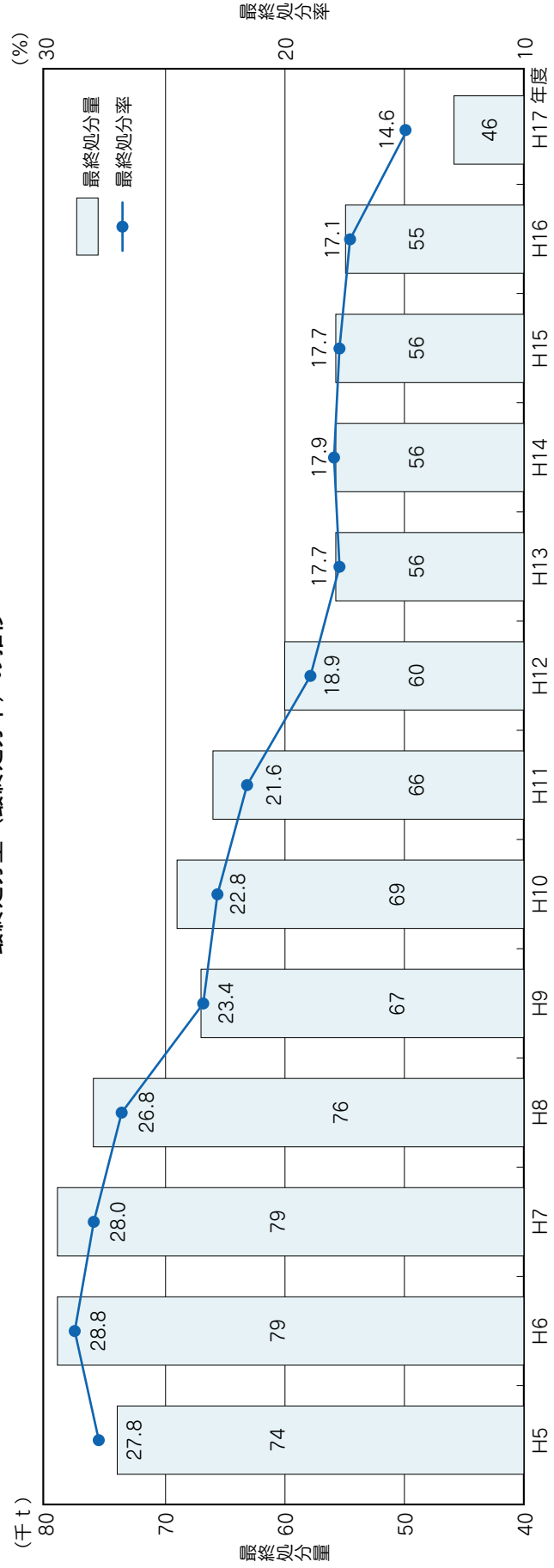


最終処分量

| 年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 |
|--------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 焼却灰等理立量 (t/年) | 47,581 | 51,130 | 53,019 | 53,725 | 52,781 | 55,692 | 52,514 | 53,962 | 54,300 | 53,299 | 52,567 | 50,956 | 44,633 |
| 直接最終処分量 (t/年) | 26,363 | 28,155 | 25,580 | 22,223 | 14,651 | 13,478 | 13,667 | 5,792 | 2,040 | 2,242 | 2,992 | 3,650 | 1,525 |
| 最終処分量合計 (t/年) | 73,944 | 79,285 | 78,599 | 75,948 | 67,432 | 69,170 | 66,181 | 59,754 | 56,340 | 55,541 | 55,559 | 54,606 | 46,158 |
| 平成10年度を100とした場合最終処分量比率 | — | — | — | — | — | 100.0 | 95.7 | 86.4 | 81.5 | 80.3 | 84.0 | 78.9 | 66.7 |
| 総人口 (人) | 840,417 | 839,735 | 840,461 | 840,300 | 839,539 | 838,963 | 837,044 | 835,068 | 832,823 | 830,657 | 827,408 | 823,933 | 819,009 |
| 1人1日当たりの最終処分量 (g/人・日) | 241 | 259 | 256 | 248 | 220 | 226 | 217 | 196 | 185 | 183 | 184 | 182 | 154 |
| ごみ管理排出量 (t/年) | 266,276 | 275,544 | 280,946 | 283,285 | 288,148 | 303,289 | 306,831 | 315,855 | 318,194 | 309,720 | 314,334 | 319,175 | 315,383 |
| 最終処分率 (%) | 27.8 | 28.8 | 28.0 | 26.8 | 23.4 | 22.8 | 21.6 | 18.9 | 17.7 | 17.9 | 17.7 | 17.1 | 14.6 |

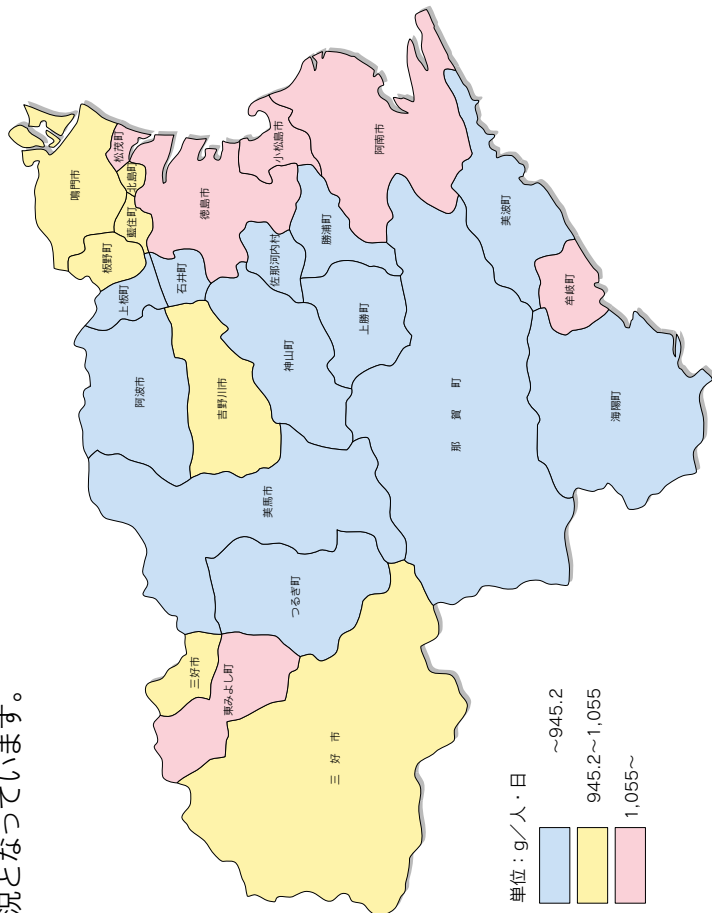
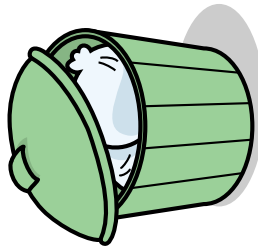
注) ●「焼却灰等理立量」とは焼却残渣及び焼却施設以外からの処理残渣を合わせた量である。
●「最終処分率」とはごみ管理排出量に占める最終処分量をいう。

最終処分量（最終処分率）の推移



市町村別 1人1日当たりのごみの排出量（平成17年度実績）

あなたの住んでいる市町村は何色ですか？
 基準（H10）と現状（H17）との比較では変化がありますか？
 お住まいの市町村では、ごみの減量化についてのどのような取り組み
 をしているか、知っていますか？
 日常生活の中で、一人でも実践できごみの減量化がきつとある
 はずです。
 ちなみに、徳島県の全国での順位は、21位（H16実績 1,061g）
 となっており、全国平均値（1,146g／人・日）よりも85g以上少
 ない状況となっています。



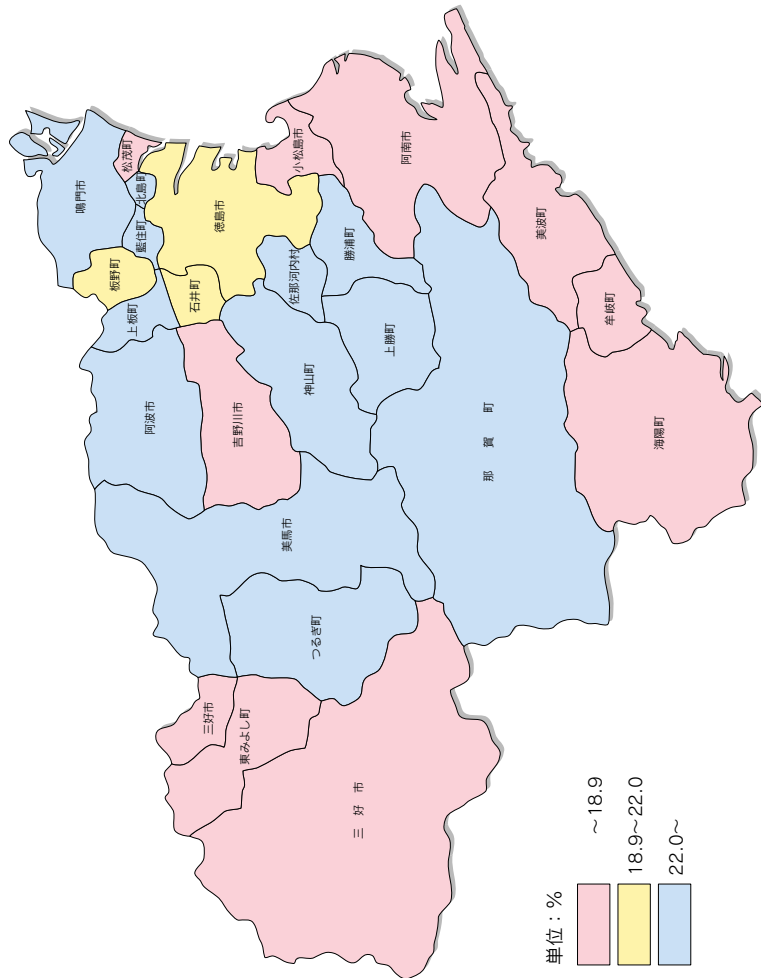
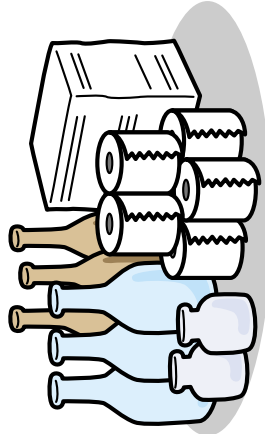
- ※ 排出量 = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量
- ※ 廃棄物処理法に基づく「廃棄物の減量その他の適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」においては、一般廃棄物の排出量を「計画収集量 + 直接搬入量 + 資源ごみの集団回収量」と定義している。
- ※ 945.2 (g／人・日) は徳島県廃棄物処理計画での平成17年度における1人1日当たりの排出量の目標値
- ※ 徳島県廃棄物処理計画では、平成17年度におけるごみ管理排出量を平成10年度に対して約6%削減し、1人1日あたりの排出量を945.2gとするを目標としている。
- ※ 1,055 (g／人・日) は平成17年度における県全体の1人1日当たりの排出量
- ※ グラフ括弧内は、平成10年度を100とした場合の割合（括弧内の数値は平成10年度から減量化が進んでいないことを示している。）
- ※ 括弧内の数値が100以上の自治体は平成10年度から減量化が進んでいないことを示している。

| | 1人1日当たりの排出量 (g／人日) | | | 排出量 (t) | | |
|-------|--------------------|---------------|-------------|-----------------|----------------|--|
| | 平成10年度 | 平成17年度 | 平成17年度 (基準) | 平成17年度 (現状) | 平成17年度 (目標) | |
| 徳島市 | 1,350 (100.0) | 1,293 (95.8) | 130,351 | 123,567 (94.8) | 122,530 (94.0) | |
| 鳴門市 | 1,307 (100.0) | 1,001 (76.6) | 31,466 | 23,576 (74.9) | 29,641 (94.0) | |
| 小松島市 | 1,001 (100.0) | 1,105 (110.4) | 16,214 | 17,313 (106.8) | 15,241 (94.0) | |
| 阿南市 | 933 (100.0) | 1,115 (119.5) | 27,792 | 32,601 (117.3) | 26,124 (94.0) | |
| 吉野川市 | 665 (100.0) | 957 (143.9) | 11,793 | 16,396 (139.0) | 11,085 (94.0) | |
| 阿波市 | 550 (100.0) | 670 (121.8) | 8,964 | 10,508 (117.2) | 8,426 (94.0) | |
| 美馬市 | 608 (100.0) | 719 (118.2) | 8,292 | 9,200 (111.0) | 7,794 (94.0) | |
| 三好市 | 761 (100.0) | 971 (127.6) | 10,883 | 12,439 (114.3) | 10,230 (94.0) | |
| 勝浦町 | 697 (100.0) | 707 (101.5) | 1,819 | 1,693 (93.1) | 1,710 (94.0) | |
| 上勝町 | 465 (100.0) | 446 (95.8) | 409 | 349 (85.3) | 384 (94.0) | |
| 佐那河内村 | 50 (100.0) | 287 (570.8) | 61 | 315 (516.4) | 57 (94.0) | |
| 石井町 | 814 (100.0) | 881 (108.2) | 7,920 | 8,664 (109.4) | 7,445 (94.0) | |
| 神山町 | 74 (100.0) | 303 (408.7) | 238 | 835 (350.8) | 224 (94.0) | |
| 那賀町 | 592 (100.0) | 668 (112.8) | 2,757 | 2,817 (102.2) | 2,591 (94.0) | |
| 牟岐町 | 902 (100.0) | 1,062 (117.8) | 2,080 | 2,180 (104.8) | 1,955 (94.0) | |
| 美波町 | 727 (100.0) | 902 (124.1) | 2,643 | 2,953 (111.7) | 2,484 (94.0) | |
| 海陽町 | 768 (100.0) | 917 (119.4) | 3,598 | 4,083 (113.5) | 838 (94.0) | |
| 松茂町 | 992 (100.0) | 1,336 (134.7) | 5,077 | 7,227 (142.3) | 4,772 (94.0) | |
| 北島町 | 946 (100.0) | 1,025 (108.4) | 6,893 | 7,838 (113.7) | 6,479 (94.0) | |
| 藍住町 | 862 (100.0) | 1,037 (120.3) | 9,367 | 12,284 (131.1) | 8,805 (94.0) | |
| 板野町 | 900 (100.0) | 993 (110.3) | 4,823 | 5,267 (109.2) | 4,534 (94.0) | |
| 上板町 | 534 (100.0) | 696 (130.3) | 2,561 | 3,406 (133.0) | 2,407 (94.0) | |
| つるぎ町 | 562 (100.0) | 777 (138.4) | 2,891 | 3,532 (122.2) | 2,717 (94.0) | |
| 東みよし町 | 706 (100.0) | 1,060 (150.1) | 4,330 | 6,340 (146.4) | 1,569 (94.0) | |
| 県平均値 | 990 (100.0) | 1,055 (106.5) | 303,222 | 315,393 (104.0) | 285,092 (94.0) | |

※阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、那賀町、海陽町、つるぎ町、東みよし町の平成10年度の量は、旧町村の数値を合計したものである。

市町村別リサイクル率（平成17年度実績）

あなたの住んでいる市町村は何色ですか？
 基準（H10）と現状（H17）との比較では変化がありますか？
 資源ごみの分別を面倒くさがっていませんか？
 「燃える・燃えない」から「資源化できる・できない」という分別へ。
 みなさんの協力で貴重な資源を有効利用しましょう。
 ちなみに、徳島県の全国での順位は、25位（H16実績 17.7%）で、
 全国平均値（17.6%）よりも0.1%上回っています。



| | リサイクル率（％） | | | | 総資源化量（t） | |
|-------|----------------|----------------|----------------|--------|----------|--|
| | 平成10年度 （基準） | 平成17年度 （現状） | 平成17年度 （目標） | 平成10年度 | 平成17年度 | |
| 徳島市 | 9.0 | 19.0 | 22.0 | 11,747 | 23,532 | |
| 鳴門市 | 10.7 | 28.3 | 22.0 | 2,710 | 6,662 | |
| 小松島市 | 8.6 | 11.7 | 22.0 | 1,388 | 2,033 | |
| 阿南市 | 9.3 | 11.0 | 22.0 | 2,574 | 3,574 | |
| 吉野川市 | 11.7 | 14.4 | 22.0 | 1,387 | 2,354 | |
| 阿波市 | 30.0 | 23.8 | 22.0 | 2,693 | 2,505 | |
| 美馬市 | 21.9 | 24.4 | 22.0 | 1,812 | 2,245 | |
| 三好市 | 11.2 | 14.4 | 22.0 | 1,218 | 1,786 | |
| 勝浦町 | 24.4 | 26.0 | 22.0 | 444 | 441 | |
| 上勝町 | 66.5 | 72.2 | 22.0 | 272 | 252 | |
| 佐那河内村 | 100.0 | 60.0 | 22.0 | 61 | 189 | |
| 石井町 | 8.9 | 20.7 | 22.0 | 701 | 1,796 | |
| 神山町 | 45.8 | 59.3 | 22.0 | 109 | 495 | |
| 那賀町 | 26.1 | 31.1 | 22.0 | 215 | 877 | |
| 牟岐町 | 16.1 | 13.1 | 22.0 | 335 | 286 | |
| 美波町 | 19.4 | 16.5 | 22.0 | 512 | 488 | |
| 海陽町 | 18.0 | 15.1 | 22.0 | 648 | 616 | |
| 松茂町 | 18.5 | 16.5 | 22.0 | 939 | 1,193 | |
| 北島町 | 9.3 | 22.1 | 22.0 | 639 | 1,732 | |
| 藍住町 | 15.4 | 22.4 | 22.0 | 1,446 | 2,748 | |
| 板野町 | 8.0 | 21.8 | 22.0 | 386 | 1,146 | |
| 上板町 | 15.9 | 27.3 | 22.0 | 408 | 929 | |
| つるぎ町 | 20.1 | 22.1 | 22.0 | 582 | 781 | |
| 東みよし町 | 12.9 | 14.2 | 22.0 | 558 | 902 | |
| 県平均値 | 11.5 | 18.9 | 22.0 | 34,544 | 59,562 | |

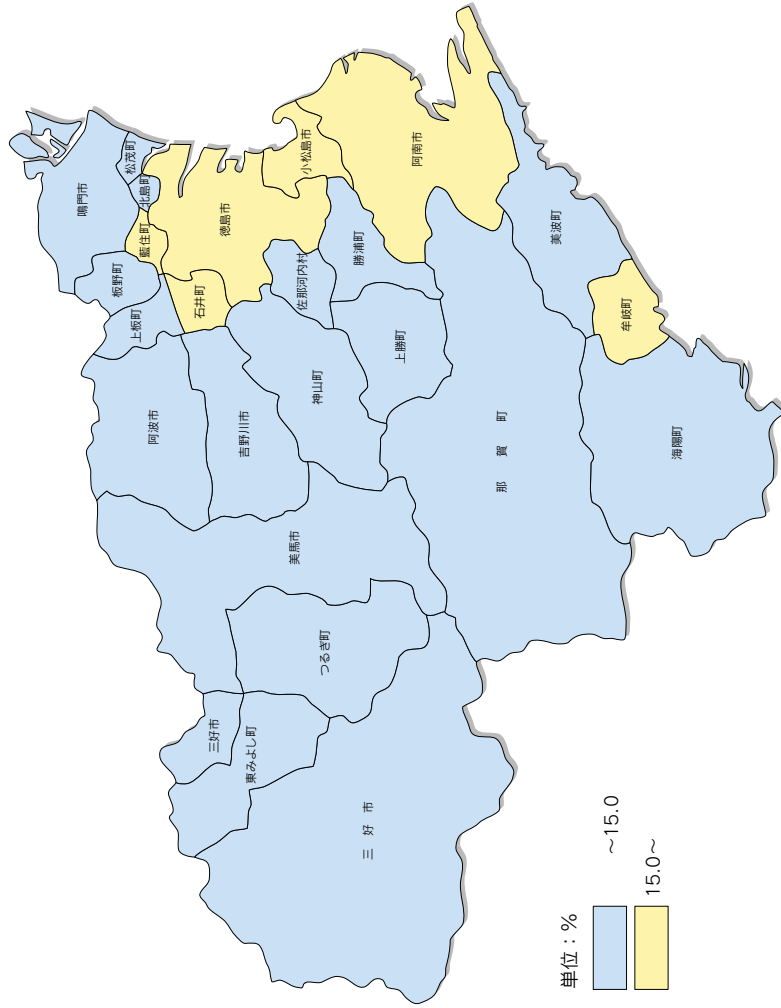
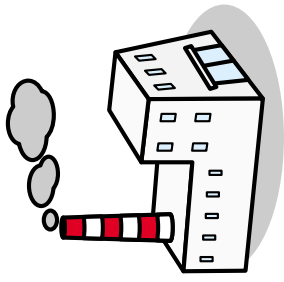
※阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、那賀町、美波町、海陽町、つるぎ町、東みよし町の平成10年度の率及び量は、旧町村の数値を合計したものである。

- ※ 22.0%は徳島県廃棄物処理計画での平成17年度におけるリサイクル率の目標値
- ※ 徳島県廃棄物処理計画では、平成17年度におけるごみ排出量に対する総資源化率を22%以上、総資源化量を6万2千トン以上とすることを目標とします。
- ※ 18.9%は平成17年度における県全体のリサイクル率
- ※ リサイクル率 = (直接資源化量 + 市町村による資源化量 + 集団回収量) / (ごみ総処理量 + 集団回収量) × 100
- ※ 総資源化量とは、直接資源化量と市町村による資源化量と集団回収量の和を言う。
- ※ 佐那河内村については、平成10年度は資源ごみの収集しかなかった。

市町村別最終処分率及び最終処分率（平成17年度実績）

あなたの住んでいる市町村は何色ですか？

基準（H10）と現状（H17）との比較では変化がありませんか？
埋め立てるしかできないごみの量が毎年、これだけ排出されています。
これを埋め立てる場所を今後、いくつ造れば足りるのでしょうか？
もともとは、私たちが出したごみです。
製品を買う前に、ごみになった時のことを少し考えてみてください。
ちなみに、徳島県の全国での順位は、32位（H16実績 17.1%）と
なっており、全国平均値（15.2%）を上回っています。



| 市町村名 | 平成10年度 | | 平成17年度 | |
|-------|--------------|--------------|-----------------------|--------------|
| | ごみ排出量 (t) | 最終処分量 (t) | ごみ排出量に占める最終処分率 (%) | 最終処分量 (t) |
| 徳島市 | 130,351 | 30,914 | 23.7 | 20,737 |
| 鳴門市 | 31,466 | 12,916 | 41.0 | 3,113 |
| 小松島市 | 16,214 | 3,039 | 18.7 | 3,176 |
| 阿南市 | 27,792 | 5,001 | 18.0 | 5,546 |
| 吉野川市 | 11,793 | 2,446 | 20.1 | 1,905 |
| 阿波市 | 8,964 | 1,343 | 15.0 | 223 |
| 美馬市 | 8,292 | 578 | 7.0 | 983 |
| 三好市 | 10,883 | 1,805 | 16.6 | 1,458 |
| 勝浦町 | 1,819 | 326 | 17.9 | 147 |
| 上勝町 | 409 | 15 | 3.7 | 13 |
| 佐那河内村 | 61 | 0 | 0.0 | 20 |
| 石井町 | 7,920 | 2,045 | 25.8 | 1,754 |
| 神山町 | 238 | 129 | 54.2 | 82 |
| 那賀町 | 823 | 88 | 10.7 | 325 |
| 牟岐町 | 2,080 | 366 | 17.6 | 332 |
| 美波町 | 2,643 | 461 | 17.4 | 420 |
| 海陽町 | 3,598 | 630 | 17.5 | 587 |
| 松茂町 | 5,077 | 822 | 16.2 | 700 |
| 北島町 | 6,893 | 1,275 | 18.5 | 1,009 |
| 藍住町 | 9,367 | 2,000 | 21.4 | 2,028 |
| 板野町 | 4,823 | 1,416 | 29.4 | 443 |
| 上板町 | 2,561 | 442 | 17.3 | 70 |
| つるぎ町 | 2,891 | 212 | 7.3 | 387 |
| 東みよし町 | 4,330 | 698 | 16.1 | 700 |
| 県計 | 303,222 | 69,170 | 22.8 | 46,158 |

※ 15.0%は徳島県廃棄物処理計画での平成17年度における県の最終処分率（ごみ排出量に占める最終処分率）の目標値
 ※ 徳島県廃棄物処理計画では平成17年度における最終処分率を平成10年度に対して約62%に削減し、4万3千トン以下とすることを目標としています。
 ※ 最終処分率 = (最終処分量 / ごみ排出量) × 100
 ※ 佐那河内村については、平成10年度は資源ごみの収集しかしていません。

※阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、那賀町、美波町、海陽町、つるぎ町、東みよし町の平成10年度の率及び量は、旧町村の数値を合計したものである。



用語説明

総排出量＝計画収集量＋直接搬入量＋自家処理量

計画収集量（市町村、一部事務組合及び広域連合が収集する量）と直接搬入量（事業者や住民によりに直接搬入してくる量のうち市町村から許可又は委託を受けた業者から搬入されるものを除く量）と自家処理量（生ごみ等の生活系一般廃棄物を自ら処分している量）を合わせたものです。

収集量の中には、生活系ごみと事業系ごみが含まれます。

排出量＝計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量

計画収集量と直接搬入量と集団回収量（市民団体等により資源ごみを回収した量）を合わせたものです。廃棄物処理法に基づく「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」においては、一般廃棄物の排出量を「計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量」と定義しています。

廃棄物の減量、リサイクル及び適正処理を図り、県民、事業者、行政が循環型社会の形成に向けて取り組む施策を示した「徳島県廃棄物処理計画」の中で減量化目標として設定している「ごみ管理排出量」も同義です。

1人1日当たりの排出量＝総排出量(排出量)／総人口×365

ごみ総排出量又はごみ排出量を総人口及び年間日数（365日）で割ったもので、住民1人が1日に排出するごみの量です。

リサイクル率＝(直接資源化量＋市町村資源化量＋集団回収量)／(総処理量＋集団回収量)

廃棄物として排出された量に対して資源化などがされた量の割合です。

総処理量（市町村が処理した全量）と集団回収量の和の中で直接資源化量（資源化を行う施設を経ずに直接、再生事業者等に搬入される量）と市町村資源化量（処理施設において鉄、アルミ、ペットボトル等を回収し資源化した量、中間処理後再生利用量と同義語）と集団回収量の和が占める割合（％）のことです。

減量処理率＝(直接焼却量＋資源化等の中間処理量＋直接資源化量)／総処理量

総処理量のうち何らかの処理（焼却処理、資源化等の中間処理）を施し、そのまま埋め立てるより減量化（資源化を含む）された割合です。ちなみに、「100－減量処理率＝直接埋立率」です。



市町村の廃棄物担当課窓口一覧

(H19.4.1 現在)

| | 市町村／組合名 | 部 課 名 | TEL | FAX | 備 考 |
|----|--------------|-------------|--------------|--------------|-----|
| 1 | 徳島市 | 生活環境課 | 088-621-5217 | 088-621-5210 | |
| 2 | 鳴門市 | 環境政策課 | 088-684-1142 | 088-684-1372 | |
| | | 衛生センター | 088-686-2029 | 088-686-8066 | |
| 3 | 小松島市 | 環境衛生センター | 0885-32-8290 | 0885-32-8295 | |
| 4 | 阿南市 | 環境保全課 | 0884-22-3413 | 0884-22-0727 | |
| | | 管理課 | 0884-22-3794 | 0884-22-2093 | |
| 5 | 吉野川市 | 環境衛生課 | 0883-22-2230 | 0883-22-2247 | |
| | | 環境センター | 0883-24-5697 | 0883-24-5129 | |
| 6 | 阿波市 | 環境衛生課 | 0883-35-7803 | 0883-35-7343 | |
| 7 | 美馬市 | 環境衛生課 | 0883-52-8009 | 0883-53-9919 | |
| 8 | 三好市 | 環境課 | 0883-72-3436 | 0883-72-3436 | |
| 9 | 勝浦町 | 住民課 | 0885-42-1501 | 0885-42-3028 | |
| 10 | 上勝町 | 産業課 | 0885-46-0111 | 0885-46-0323 | |
| 11 | 佐那河内村 | 健康福祉課 | 088-679-2114 | 088-679-2125 | |
| 12 | 石井町 | 福祉生活課 | 088-674-1116 | 088-675-1500 | |
| | | 清掃センター | 088-674-6842 | 088-674-3324 | |
| 13 | 神山町 | 住民課 | 088-676-1113 | 088-676-1100 | |
| 14 | 那賀町 | 環境課 | 0884-62-1192 | 0884-62-1177 | |
| | | 環境センター | 0884-66-0111 | 0884-66-0602 | |
| 15 | 美波町 | 住民福祉課 | 0884-77-3613 | 0884-77-1666 | |
| 16 | 牟岐町 | 住民福祉課 | 0884-72-3414 | 0884-72-2716 | |
| 17 | 海陽町 | 環境課 | 0884-76-1512 | 0884-76-3723 | |
| 18 | 松茂町 | 産業環境課 | 088-699-8714 | 088-699-2141 | |
| | | 環境センター | 088-699-5934 | 088-699-3426 | |
| 19 | 北島町 | 生活産業課 | 088-698-9806 | 088-698-3642 | |
| | | 清掃センター | 088-698-4052 | 088-698-7450 | |
| 20 | 藍住町 | 生活環境課 | 088-637-3116 | 088-637-3153 | |
| | | 西クリーンステーション | 088-692-7411 | 088-692-7495 | |
| 21 | 板野町 | 環境生活課 | 088-672-5987 | 088-672-5553 | |
| 22 | 上板町 | 環境保全課 | 088-694-6813 | 088-694-5903 | |
| 23 | つるぎ町 | 環境課 | 0883-62-3111 | 0883-55-1051 | |
| 24 | 東みよし町 | 環境課 | 0883-79-5340 | 0883-79-5340 | |
| 25 | 中央広域環境施設組合 | 中央広域環境センター | 088-637-7127 | 088-637-7128 | ごみ |
| 26 | 美馬環境整備組合 | | 0883-52-2496 | 0883-53-0686 | ごみ |
| 27 | 海部郡衛生処理事務組合 | 管理第一課 | 0884-72-2696 | 0884-72-2227 | し尿 |
| | | 管理第二課 | 0884-72-2614 | 0884-72-2227 | ごみ |
| 28 | みよし広域連合 | 清掃センター | 0883-72-0006 | 0883-72-6832 | ごみ |
| 29 | 小松島市外三町村衛生組合 | | 0885-38-1452 | 0885-38-1582 | し尿 |
| 30 | 吉野川環境整備組合 | | 0883-52-2388 | 0883-52-2388 | し尿 |
| 31 | 阿北環境整備組合 | | 0883-36-2235 | 0883-36-2728 | し尿 |
| 32 | みよし環境衛生組合 | | 0883-78-2167 | 0883-78-2035 | し尿 |

家庭から出る「ごみ」（一般廃棄物）に関しては、お住まいの市町村にお問い合わせください。



環境首都とくしま憲章

憲章の目的

本県の美しく豊かな自然環境を活かし、世界に誇れる「環境首都とくしま」を実現するため、県のあらゆる施策に環境の視点を取り入れるとともに、あらゆる主体がそれぞれの役割の下、環境への負荷をできる限り少なくし、徳島の環境を守り、育て、次の世代に引き継いでいかなければなりません。

このため、本県の自然環境の保全や創造のための基本的方向性を示し、県民、事業者、行政などのあらゆる主体の行動の指針であり、規範となる「環境首都とくしま憲章」を平成16年3月に策定しました。

「環境首都とくしま憲章」

地球が苦しんでいます。太陽の光があふれ、豊かな森、清らかな水に恵まれている私たちの郷土・徳島も、環境悪化が進み、ごみであふれそうになっています。

豊かさや便利さを求めて、石油を大量に使い、物を大量につくって消費しつづけた私たちが原因です。この状態にストップをかけなければ、徳島の環境は確実に荒廃し、地球は破滅への道を歩みます。

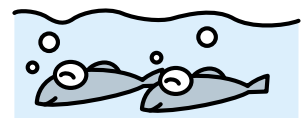
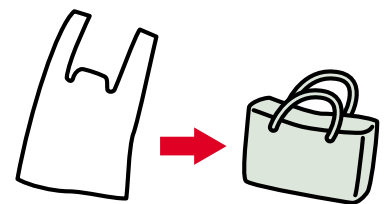
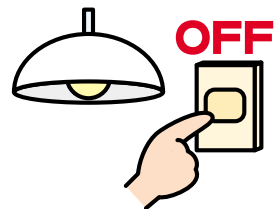
徳島にいま生きる私たちには、責任があります。地球を救い、この光と水と緑豊かな郷土を、21世紀を生きる子どもたちに、安心して暮らせる社会として引き継がなくてはなりません。

省エネルギー、リサイクル、森づくり…。私たちにできることが、暮らしの中にいっぱいあります。県民・事業者・行政、徳島に住むすべての人たちが、強い意志を持って、地球のために、徳島のために、一歩踏み出しましょう。そして、私たちの徳島を、日本で世界で誇れる「環境首都とくしま」に育てましょう。



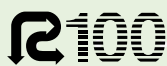
－「環境首都とくしま」への合言葉と取り組み(トライ21)－

- 無駄なエネルギーを一切使わず「地球温暖化にストップ」をかけましょう。**
 - こまめに電気製品のスイッチは切り、プラグを抜くなど節電に努めましょう。
 - 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定しましょう。
 - 徒歩や自転車、バスなどの公共交通機関を利用しましょう。
 - 燃費のよい車を利用し、アイドリングストップなどエコドライブに努めましょう。
 - 太陽熱温水器・太陽電池など自然エネルギーを利用しましょう。
- 物を大切にす知恵で「ごみゼロの社会」を目指しましょう。**
 - 空き缶やたばこなど、ごみのポイ捨てや不法な投棄・焼却はやめましょう。
 - 本当に必要な物を買ひ、最後まで大切に使い、再利用を心がけましょう。
 - ごみはきちんと分別して、できる限り資源ごみとして出しましょう。
 - 買い物袋を持参し、過剰包装やレジ袋を断りましょう。
- 身近な生き物と「共生する楽しさ」を取り戻しましょう。**
 - 野生生物の生息環境を守りましょう。
 - いろいろな生き物とふれあえる環境を育みましょう。
 - トンボやメダカ、ホタルのすめる川を増やしましょう。
 - 農薬や化学肥料の使用を最小限にとどめ、人と生き物に安心な環境をつくりましょう。
- 私たちの誇りである「清らかな水と豊かな緑」を守りましょう。**
 - 私たちが出す生活排水で川や海を汚さないようにしましょう。
 - 洗たく、洗い物でも環境に配慮した洗剤を適量使いましょう。
 - 入浴、洗面、トイレなど、あらゆる生活の中で節水を心がけましょう。
 - 身近な緑を増やし、森づくり、里山づくりで自然とふれあいましょう。
- 県民みんなが「環境にやさしい暮らし」を心がけましょう。**
 - 「もったいない」精神を大切にし、自らのエコライフを確立しましょう。
 - 社会の一員として、環境活動やボランティア活動に参加しましょう。
 - エコマークやグリーンマークなどの環境にやさしい製品を使用しましょう。
 - 地場の食材や旬の野菜を食べるようにしましょう。



徳島県の一般廃棄物 (平成17年度実態 概要版)

発行 徳島県県民環境部環境局環境整備課 ゴミゼロ推進室
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
電話 088-621-2279・ファクシミリ 088-621-2846
ホームページアドレス <http://www.pref.tokushima.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています